
IS インフィニット・ストラトス ~ 転生先はIS世界 ~

普通の魔法使い

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS インフィニット・ストラトス ～転生先はIS世界～

【Nコード】

N8490Z

【作者名】

普通の魔法使い

【あらすじ】

今回は原作＋オリキャラでハーレムを作れたらと思っていますね。駄作になるかと思うがよろしく。

第一話（前書き）

また書いてしまいました。今回はISと書くことで乗ってきてはい
るけど、ほぼ確実に月一更新の可能性あります。

第一話

「…此処は何処だ…？」

覚えているのは普通に学校へ行こうと歩いていたところまでは覚えていたんだが…。

「此処はあの世ですよ」

声のした方を振り向くと…

幼女がいた。

「…誰だい君は？（ポタポタポタ）」

「まずは鼻血を止めなさい」

「…鼻血なんか出でいない（ポタポタポタ）」

「いや、現に鼻から出ているでしょ？」

「…これは日射病の所為（ポタポタポタ）」

「いや、太陽出てないし。それより早く止めなさい」

「…やばい、可愛過ぎる…。」

「さつきにも増して勢いが強く…ちょっと大丈夫!？」

「…ここで死ぬるのは…本…望（ガクッ）」

「死んじゃ駄目だよ！」

1時間後…

「あゝ、死ぬかと思った」

「もう死んでるけどね」

…あれ？

「君、嘘はいけないよ」

「嘘じゃないもん」

やっぱり可愛い…。

なんだか鼻の奥がツーとして来た。

「ごめんなさい。間違つて殺してしまいました」

「…今も殺そうとしているけどね…」

うん。やっぱり可愛い。

「ちゃんと聞いてください!」

「わかったよ」

「はあ。本当に分かったんですかね…まあ良いや。始めから言いますよ」

「ほい」

「まず、私は間違ってあなたを殺してしまいました」

「フムフム」

「その為あなたは転生してもらう事になりました」

「ホウホウ」

「転生先はこちらで決定してある」「ちょっと待て」…何か」

「俺に決定権はな」「ありません」…」

「まあ、これから行っていただく世界はISです」
インフィニット・ストラトス

「そ、それは本当なのか…?」

「はい、本当です」

まさか、ISの世界に行けるなんて夢のようだ。

「それですね、その世界にあなたの知っている人が一人います」

「誰ですかそれは？」

「残念ながら教えることは出来ません」

「ふーん。まあ、良いか」

「それで、その世界での能力ですが…」

「それは勿論、千冬「駄目です」さん以上「無理です」の身体能力
「却下です」とか超能「不可能です」力とか「諦めて下さい」一回
のお願いで五回も断られるの初めてだよ！」

「なら良い経験になったじゃないで」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8490z/>

IS インフィニット・ストラトス ～転生先はIS世界～

2011年12月26日21時52分発行